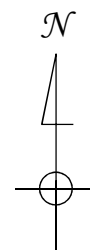
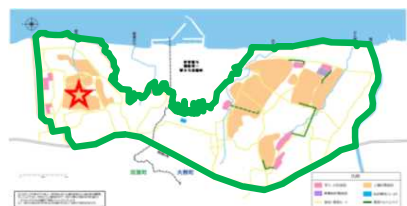


土壌貯蔵施設(双葉①工区西側)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



★:施設の位置



【凡例】

- | | | |
|----------------------|-----------------------|------------------------|
| ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等 | ●: 地下水(集排水設備)中の放射能濃度 | ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等 |
| ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質量 | ■: 放流先河川の放射能濃度 | ★: 粉じん濃度 |
| ★: 空間線量率(作業環境) | ☆: 空気中の放射能濃度 | ★: 表面汚染密度(床、ベルトコンベア直下) |
| ★: 表面汚染密度(貯蔵エリア境界・壁) | ★: 表面汚染密度(設備、ベルトコンベア) | ★: 表面汚染密度(重機) |
| ---: 敷地境界線 | | |

土壌貯蔵施設(双葉①工区西側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年3月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/9/10	(稼働前)	100	6.8
	2020/3/4	(稼働後)	41	15
下流	2018/9/10	(稼働前)	19	11
	2020/3/4	(稼働後)	16	12

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND
2020/3/12	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/3/4		8.2	5	59	8

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/3/2 ～2020/3/30	29	0.0	0.7	ND	1022

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/3/4		6

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	ND	ND
2020/3/4	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/3/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/3/5 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.29
フィルタープレセント	0.20
貯蔵エリア	1.15

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/3/5 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND	ND
フィルタープレセント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2020/3/26 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレセント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
	設備(ベルトコンベア)	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.68 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区西側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年2月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/9/10	(稼働前)	100	6.8
	2020/2/5	(稼働後)	58	13
下流	2018/9/10	(稼働前)	19	11
	2020/2/5	(稼働後)	17	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND
2020/2/12	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2020/2/5		7.4	3.5	34	2

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2020/2/2 ～2020/2/28	15	0.1 0.5	ND	523

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2020/2/5		9

SS基準：60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	ND	ND
2020/2/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/2/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.5
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	0.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/2/6 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.31
フィルタープレセント	0.23
貯蔵エリア	0.65

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/2/6 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND	ND
フィルタープレセント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2020/2/22 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
ダンブアップテント	床	ND
	東側 (壁)	ND
	西側 (壁)	ND
	南側 (壁)	ND
	北側 (壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレセント	床	ND
	東側 (壁)	ND
	西側 (壁)	ND
	南側 (壁)	ND
	北側 (壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	床 (ベルトコンベア直下)	ND
	境界 (東側)	ND
	境界 (西側)	ND
	境界 (南側)	ND
	境界 (北側)	ND
	設備 (ベルトコンベア)	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.66 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区西側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年1月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/9/10	(稼働前)	100	6.8
	2020/1/8	(稼働後)	41	14
下流	2018/9/10	(稼働前)	19	11
	2020/1/8	(稼働後)	15	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND
2020/1/9	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/1/8		7.7	2.9	53	3

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/1/2 ~2020/1/31	35	0.0	0.7	ND	1232

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/1/8		14

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	ND	ND
2020/1/8	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2020/1/9 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.2
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/1/9 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.30
フィルタープレステント	0.21
貯蔵エリア	1.28

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/1/9 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND	ND
フィルタープレステント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 4.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 3.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2020/1/25 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレステント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	重機	ND
	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
境界(西側)	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
設備(ベルトコンベア)	設備(ベルトコンベア)	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.67 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区西側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年12月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/9/10	(稼働前)	100	6.8
	2019/12/4	(稼働後)	84	12
下流	2018/9/10	(稼働前)	19	11
	2019/12/4	(稼働後)	16	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND
2019/12/13	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/12/4		7.7	4.1	48	4

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/12/2 ～2019/12/31	12	0.1	0.5	ND	424

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/12/4		3

SS基準：60mg/L

浮遊物質質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	ND	ND
2019/12/4	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/12/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.1
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/12/5 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.33
フィルタープレセント	0.21
貯蔵エリア	1.23

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/12/5 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND	ND
フィルタープレセント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/12/14 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレセント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
貯蔵エリア	設備(ベルトコンベア)	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.66 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区西側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年11月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2018/9/10 (稼働前)	100	6.8
	2019/11/6 (稼働後)	92	8.3
下流	2018/9/10 (稼働前)	19	11
	2019/11/6 (稼働後)	17	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2018/9/10 (稼働前)	ND
2019/11/7 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日				
2019/11/6	8	1.7	24	3

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/11/1 ~2019/11/29	26	0.0	1.8	ND	796

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日	
2019/11/6	2

SS基準: 60mg/L

浮遊物質質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2018/9/3 (稼働前)	ND	ND
2019/11/6 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/11/7 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.2
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	0.7

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/11/7 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.32
フィルタープレステント	0.34
貯蔵エリア	1.32

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/11/7 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND	ND
フィルタープレステント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 3.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 3.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/11/23 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレステント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
重機	設備(ベルトコンベア)	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.67 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区西側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年10月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/9/10	(稼働前)	100	6.8
	2019/10/2	(稼働後)	60	12
下流	2018/9/10	(稼働前)	19	11
	2019/10/2	(稼働後)	17	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND
2019/10/2	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/10/2		8	1.7	52	ND

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/10/2 ～2019/10/31	168	0.2 3.0	ND	5893

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/10/2		7

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	ND	ND
2019/10/2	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/10/3 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.6
フィルタープレステント	0.2
貯蔵エリア	1.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/10/3 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.33
フィルタープレステント	0.25
貯蔵エリア	1.52

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/10/3 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND	ND
フィルタープレステント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/10/25 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレステント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	ベルトコンベア・テント内	ND
	ベルトコンベア塔	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.68 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区西側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年9月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/9/10	(稼働前)	100	6.8
	2019/9/4	(稼働後)	55	10
下流	2018/9/10	(稼働前)	19	11
	2019/9/4	(稼働後)	16	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND
2019/9/5	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/9/4		7.4	5.8	46	7

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/9/2 ～2019/9/29	40	0.0 3.2	ND	1402

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/9/4		7

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	ND	ND
2019/9/4	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/9/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	1.9
フィルタープレセント	0.2
貯蔵エリア	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/9/5 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.35
フィルタープレセント	0.22
貯蔵エリア	1.53

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/9/5 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND	ND
フィルタープレセント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/9/23 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
ダンプアップテント	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
	北側（壁）	ND
	設備	ND
フィルタープレセント	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
	北側（壁）	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	床（ベルトコンベア直下）	ND
	境界（東側）	ND
	境界（西側）	ND
	境界（南側）	ND
	境界（北側）	ND
	設備（ベルトコンベア）	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.79 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区西側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年8月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/9/10	(稼働前)	100	6.8
	2019/8/7	(稼働後)	80	8.5
下流	2018/9/10	(稼働前)	19	11
	2019/8/7	(稼働後)	17	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND
2019/8/2	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/8/7		8.1	2.2	43	1

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/8/1 ～2019/8/31	24	0.0 3.1	ND	842

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/8/7		9

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	ND	ND
2019/8/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/2 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.8
フィルタープレステント	0.1
貯蔵エリア	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/8/2 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.36
フィルタープレステント	0.22
貯蔵エリア	0.89

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/2 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：2.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/8/24 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
	設備(ベルトコンベア)	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.77 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉①工区西側)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年7月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目 測定日	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/9/10 (稼働前)	100	6.8
	2019/7/3 (稼働後)	64	9.5
下流	2018/9/10 (稼働前)	19	11
	2019/7/3 (稼働後)	18	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目 測定日	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10 (稼働前)	ND
2019/7/5 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目 測定日	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/7/3	7.5	1.7	15	1

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度 最小値 最大値	放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
2019/7/1 ～2019/7/29	90	0.0 3.0	ND	3142

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目 測定日	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/7/3	25

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目 測定日	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3 (稼働前)	ND	ND
2019/7/3 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/7/4,11 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.1
フィルタープレセント	0.2
貯蔵エリア	0.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/7/4,11 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.34
フィルタープレセント	0.21
貯蔵エリア	0.81

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/7/4,11 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/7/27 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレセント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
	設備(ベルトコンベア)	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.77 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年6月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2018/9/10	(稼働前)	100	6.8
	2019/6/5	(稼働後)	37	10
下流	2018/9/10	(稼働前)	19	11
	2019/6/5	(稼働後)	16	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND
2019/6/20	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/6/5		8.2	1.6	24	1

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/6/7 ～2019/6/30	49	0.1	0.4	ND	1667

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定日	測定項目	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
2019/6/5		38

SS基準：60mg/L

浮遊物質質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	ND	ND
2019/6/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2019/6/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.5
フィルタープレステント	0.2
貯蔵エリア	0.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/6/5 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.38
フィルタープレステント	0.22
貯蔵エリア	0.59

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/6/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/6/25 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
	設備	ND
貯蔵エリア	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
	設備(ベルトコンベア)	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.78 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年5月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2018/9/10 (稼働前)	100	6.8
	2019/5/8 (稼働後)	41	9.8
下流	2018/9/10 (稼働前)	19	11
	2019/5/8 (稼働後)	16	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2018/9/10 (稼働前)	ND
2019/5/22 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2019/5/8	7.3	6.3	13	1

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/5/2 ～2019/5/29	25	0.1	2.1	ND	873

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2019/5/8	41

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2018/9/3 (稼働前)	ND	ND
2019/5/8 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/5/15 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.2
フィルタープレセント	0.1
貯蔵エリア	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/5/15 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.37
フィルタープレセント	0.23
貯蔵エリア	0.90

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/5/15 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレセント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 5.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} +セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/5/24 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレセント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	重機	ND
	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
境界(西側)		ND
	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND

表面汚染密度検出下限値： 0.78 Bq/cm^2

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度： 40 Bq/cm^2

土壌貯蔵施設(第2期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年4月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2018/9/10 (稼働前)	100	6.8
	2019/4/3 (稼働後)	51	8.1
下流	2018/9/10 (稼働前)	19	11
	2019/4/3 (稼働後)	17	10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
測定日	
2018/9/10 (稼働前)	ND
2019/4/23 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2019/4/3	7.5	1.2	21	13

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/4/5 ～2019/4/30	15	0.2	0.6	ND	521

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2019/4/3	14

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2018/9/3 (稼働前)	ND	ND
2019/4/3 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/4/4 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンプアップテント	0.5
フィルタープレステント	0.2
貯蔵エリア	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/4/4 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンプアップテント	0.46
フィルタープレステント	0.26
貯蔵エリア	1.03

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/4/4 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/4/24 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレステント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	床(ベルトコンベア直下)	ND
	境界(東側)	ND
	境界(西側)	ND
貯蔵エリア	境界(南側)	ND
	境界(北側)	ND
	設備(ベルトコンベア)	ND
重機		ND

表面汚染密度検出下限値：0.77 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²